



栃木県では養育里親を親しみを込めて「とちのきフォスター」と呼んでいます。手のひらの形をした大きな葉を持ち、しっかり根を張り強く大きな木に育つ県木「栃の木」。その「とちのき」と、英語で里親を意味する「フォスター」を組み合わせ、愛情をこめて育てる里親と、その愛情を受け、すくすく育つ子どものイメージを表しています。TFCではこの愛称から機関紙を「とちのき」としました。

令和5(2023)年9月

## 里親の醍醐味

(一社) とちぎ家庭養育推進協議会理事

石川浩子

施設職員から里親(平成21年登録)になって14年が経ちました。たて続けに2名の男児を預かったことがきっかけとなり、平成26年に主に中高生の男児を預かるファミリーホームはなの家(運営主体:NPO法人青少年の自立を支える会)を開設し、今に至っています。

この間14名の児童が委託され、委託一時保護やショートステイ等も含めると30名を超える子どもたちとの出会いがありました。どの子どももみんな大変な状況を潜り抜けて、私たちのところにたどり着いていることに違いはありません。

生活が落ち着いてくると、これまでのことを語りだす子どもたち・・・「お年玉をもらったことがない」「映画館に行ったことがない」「親の顔を知らない、覚えてない」等々、私たち里親や施設など社会的養護に繋がってくる子は、世の中の多くの子どもたちにとっての、ありふれた日常からは、かなりかけ離れた状況だったことが手に取るように分かります。

社会的養護に携わる者は、「与えられず、奪われたものを与え取り戻し、傷ついた心を癒せば元に戻るのか」と言えば、そう単純ではない」ということを実感しています。私自身も悩みながらも職場の仲間と一緒に子どもたちの養育に当たってきました。

施設の現場で子どもたちと関わり続けてきた経験もあったので、里親として養育する困難さを、ある程度「想定内」として受け止めることができましたが、「こんなはずじゃなかった。これでいいのだろうか」など、ともに暮らすことによる子どもとの「距離」の取り方、自分自身に湧き上がるコントロールしにくい感情、学校を始めとする関係機関との連携等々、里親ならではの困難と苦悩に気づかされました。

その私が里親としてファミリーホームで何人もの子どもたちと関わり続けてこられたのは、元同僚や周囲の皆さんに支えられていると実感できたことが最大の要因です。不安がある時は正直に話し、悩みがあれば相談し、提案要望があれば伝え、手を貸してほしい時は臆することなくお願いします。そうすることで私自身の困り感を知ってくれているという安心感が得られ、気持ち楽になりました。結果的に「開かれた養育」となったのだと思います。

里親による養育が推進されている一方で、里親の家庭というプライベート空間での養育となるため、外からは見えにくく孤立してしまう危険があるとされています。孤立しないためには、抱え込むことはせず、周囲を巻き込み、養育をオープンにしていくという意識を持つことがとても大切で、それはまた、子どもの権利擁護にもつながる重要かつ求められる養育スキルのひとつです。

我が家の子どもたちは、思春期真っ只中。心身の成長著しいその分、アンバランスでもあります。私が子どもたちの言動に一喜一憂し、思い悩み様々な人たちを巻き込みながら右往左往しているその間に、子どもたちの方は何もなかったかのように私よりずっと先を歩いていることも・・・。

おそらく大人たちが思い悩むこの一連の作業が子どもたちにとっての成長には欠かせないことで、私はここに里親としての醍醐味を感じています。

今年の夏は、あまりにも暑く地球規模での異常気象となりました。この通信が皆様のお手元に届くころには少しでも涼しくなっていることを願うばかりです。



# 里父さんが集合！

## 里親カフェ



### 語り合いました!!

里父さんがカフェで語り合ったトークの一部を紹介します



#### ● お子さんについて教えてください。

- A 今二人の里子を養育しています。15歳バリバリの思春期の子と9歳になる子です。よくケンカするので今夏休みは戦場でお母さんは疲弊しちゃう状態ですが、何とか頑張っています。
- B 里親6年目になります。子どもは10歳です。3年生から4年生になる中で一気に成長して、うれしい反面、大変な事もあって、今日はママを休ませる意味もあって子ども同伴できています。
- C 今日は子どもと来ていて子どもは3歳になります。一番かわいい時期とみんなからは言われているんですけど…(笑)
- D 昨年里親の研修を受けまして、まだ未委託なんですけど、「ふれあい」で今年度は3回ぐらい同じ子どもを預かっています。
- E 今年の4月に里親の認定を受けまして、まだ委託はされていないんですけど、来週、一泊二日で小学校3年生の子を「ふれあい」でお預かりさせていただきます。
- F 9か月の子を委託されて、今3歳になっています。養育里親ですが、養子縁組も考えていて、告知とかもどうしようかと考えたり、今45歳なんで、大きくなったら自分の体力とか持つかなどか思っています。
- G 去年の10月に委託されました。ママにべったりで、パパはどちらかという疎外されてるというか(笑)イヤイヤ期やトイレトレーニングも始まって、子育ての大変さを感じています。

#### ●最近思っていることを何でも話してください。

- A 子どもが思春期になって非常に不安定な状態になっていることですね。ここ一年ぐらいの夫婦の最大の悩み事です。問題もいろいろあって妻が一番大変だと思います。私はなるべく怒ったりすることがないように、それでいて、ちゃんと見守っているよという態度は見せないといけないと思っています。
- B 子どもの世界って私の育った時ともう全然違いますね。だから、もう、わからないんだって思ってます。(笑)例えば、うちの子がいじめられて泣きながら帰ってくる。いじめた子が謝りに来て、謝らない子もいたけど、次の日、何もなかったように遊んだって言うんですよ。そして次の土曜日、また遊びに行ったら楽しかったって。もう、いきなりの嵐ははれやかな青空になったような。そんなことが繰り返されるわけで。だから私たちが断片的に見て大騒ぎしても、子どもから何もわかってないでしよって言われてるみたいなきもちですね。
- C 4月に保育園が変わったんです。そしたら、他の子に手を出したってことがあって、何の理由もなく手を出したってことで、そこがちょっと心配かなって。家ではそんな感じではないので。あと、車が変形してロボットになるのがあるんですけど、最近のはそれが複雑になっていて困ってます。(笑)
- D 私たち夫婦は子育ての経験はないので、こういうところで皆さんの話を参考にしたいと思っています。これまでに3回ほど「ふれあい」で来たお子さんは最初はおとなしくて、3回目ぐらいで、少しわがママが出たりして、それはむしろ私たちがとの距離感が縮まってきたからで良かったなって思っていますけど、後から聞いたら、その子は委託になる可能性は低い子どもだそうで、でも別の子が委託になってもその子と「ふれあい」を続けていけたらなと思っています。
- E 私たちは10年前に民間の機関を通して特別養子縁組をした子どもがいます。今回里親登録したのは少しでもお役にたてればという事と、兄弟がいたら楽しいかなと思っただけなんですけど、その時、児相の方から「告知はされましたか？」と聞かれたんですね。いつしよか考えていたので、その時に告知しました。そしたら次の日、学校でそのことを言ったらしくて、先生から、そういうことはみんなに言わなくていいんだよって言われたらしいです。本人的には告知がショックだったってことはないみたいでした。自分なりに理解してるんじゃないかなと思います。
- F そうですね。告知っていうのは近々の悩みと言いますか、3歳になって知能がすごく上がってきて、前に通っていた保育園のことも覚えてるんですね。さすがに生まれてすぐに別れた実親のこととかは覚えていないでしょうけど、気が強い、自立心のある子なので、早く言わないと後でわかつたらまずいかなって思うんですけど、二人の親がいるってことを理解できるかなって考えたり、どうしよって悩んでます。あと年齢的にこの子が大学に行った時とか大丈夫かなって、数えると私はまだギリギリ仕事しているはずなんですけどね。
- A 今までで、一番へこんだのは子どもから「自分はあなたたちの実の子どもじゃないんだから」って言われたときでしたね。でも最近では、それはそれでしよがないんだって、だんだんお互いに割り切れるようになってきましたね。子どもが大きくなって実親のことを考えて自暴自棄になったりしても、こちらもただ信じてあげるしかないのかなって思っています。
- C 子どもが里子であることを卑下しないように強く育てていてもらいたいなと思っています。これから先、保育園や学校や児相の人たちにも協力してもらって、いじめとかいろいろ不安はあるんですけど成長していてもらいたいです。今、私は52歳なんで、一緒に遊ぶのはへばってますけど、できる限り動こうと思ってます(笑)
- D 私も今50なんですけど、週末だけでも5歳の子と一緒に走ったりすると週明け辛かったりします(笑)あと私が育った頃と今の子どもたちとでは周りの環境とか情報量とか友達との付き合いとかが全く違うので、時代のズレも相当あるはずなので、そこは悩むんだらうなって思いました。
- E 特別養子縁組した時に、病院の人から言われたことがあったんですね。たぶん男の子だったからでしょうか、パパは子どもと一緒に、ママには内緒の秘密を作ってくださいって言われたんですね。で、2歳の時からママは置き去りで、子どもと二人で一泊二日の旅行に、毎年行ってます。今でも行ってます。もちろん家族でも行きますけど。でも、父親の役割として、そこで子どもといろいろ話しています。
- B 突破口的なこととして…(笑)ママとパパの教育方針とか愛し方を合わせようとすると難しく、衝突が始まっちゃったり、とんでもないことに発展しちゃうんで、お互いに尊重した方が良さそうですね。問題も一緒に何とかしよとするって良いことのように思うしよじゃないですか、でもしよじゃなくて、今日は俺が何とかするって、…何とかするあてはないんですけど(笑)だから次はママが何とかして。そういうしよな、それぞれが責任もってやるって言うのもアリだと思います。

※まだまだ、書ききれない、いろいろな話題が出ました。思春期、友達関係、スマホ、ゲーム、自分の年齢から考える将来の経済的問題など、父親ならでの課題もありました。また、里父カフェで語り合いましよ。



# 栃木フォスタリングセンターは里親さんからの相談を聞いたり、様々な支援活動を通して里親家庭を応援しています!

## 令和4年度実績

### 《電話・来所相談》

● 養育中の里親	● 未委託里親
① 電話・メール相談 6件	① 電話・メール相談 8件
② 来所相談 15件	② 来所相談 8件
③ 訪問 2件	

### 《フォスタリング・パートナー訪問支援》

・中央	36件
・県南	20件
・県北	60件
計	116件

### 【主な相談内容】

- ・育児相談
- ・子どもの養育、食育、風邪などの病気や発達に関する相談
- ・生活習慣について(同年代の子どもとのかかわり)
- ・保育園について ・子どもの学習、進路について
- ・登校の様子、不登校、学校への行き渋り、学習、入学の際の姓についてなど、学校生活について
- ・生い立ちの整理、真実告知について(生い立ちの授業・2分の1成人式について)
- ・兄弟や親など実家族のこと、実親との関係、交流について
- ・ゲーム時間、お小遣い、洋服代など金銭面 ・物を失くしやすい、整理整頓できないなどの生活について
- ・思春期の里子との関わり方、異性との付き合い方
- ・子どもの気になる行動、嘘をつく、ルールを守れないなど子どもの行動について
- ・性自認・性的指向について ・ペットとの関わり ・里父、里母の関係性の悩み、里父母の養育観の違い
- ・育児と仕事の両立。・養育中のストレス ・育児の役割分担、里母の自由な時間の持ち方
- ・養育の不安、レスパイト利用について ・実子と里子との関係 ・養子縁組について
- ・親族への説明の仕方について ・進路、自立後について ・措置変更後の生活について
- ・保険や保育料などの費用関係、・委託費の請求について ・ふれあい里親について



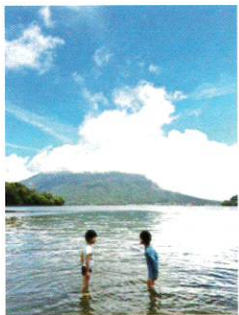
### 《里親カフェの開催》

・年間実施回数 20回 参加者: 延べ 336名 (R4)

里親カフェの案内チラシ

### 《自然体験&宿泊プログラム》

- 子どもの自然体験宿泊第1回 7/23~25 キリフリ自然学校 参加者: 3名
- 子どもの自然体験宿泊第2回 9/17~19 キリフリ自然学校 参加者: 3名



← 湖で遊ぶ子どもたち

### 【参加した子ども&家族の感想】

- ・皆で楽しくて時間を忘れてずっといたいと思いました。刺激的な3日間を過ごした。...
- ・川遊び・たこ焼きも食べて楽しかった。また行きたいです...
- ・とても楽しくて記憶に残るほど動きました...
- ・大人の方がとてもフレンドリーで話しやすかった...
- ・同年代と会話を楽しめたことが印象に残ったようだ。
- ・高校生対象もあっていいな...と思いました。

### 《いちご縁文庫》

R4 8月開始



里親家庭の養育に役立つ本や、子どもに読んであげる絵本、社会的養護に関する本などを貸し出ししています。

貸し出しを希望される方は、里親カフェ又はセンターまでお越しください。

●貸出し27冊



### とちのきフォスター 時間外電話相談

080-8082-2298

毎週 水曜日 17:00~20:00

※養育中のお子さんに関する相談に限ります。 お子さんの養育で困っている方、一人で悩まずにお気軽にご相談ください。



### ■メール会員登録募集中(無料)■

メールアドレスを登録すると、研修や講演などの案内や、センターからの様々な情報が送られます。登録は栃木フォスタリングセンターのホームページのお問い合わせから、氏名、メールアドレス等をお知らせください。 ホームページ: <https://tfc2021.jp/>

HPのQRコード



はじめまして！  
フォスタリングパートナーです！



フォスタリング・パートナー  
柳田 圭子



フォスタリング・パートナーとして二年目になりました。そして、里親登録して十五年位経ちます。二年位経って小学校に入学する男の子の話を頂かわが家に来てくれました。その子も今は二十歳になりました。委託間もない頃は関係ができていなくて何度も自分は養育にむいていないのではと思っていました。そんな時色々な行事に参加して里親さん達に聞いて頂いたりして気分転換をさせて頂きました。今思うとあつという間で、今は子どもに支えられています。今までの何回かのパートナー研修を活かせる様に相手の話を良く聴く、どうなったら幸せになるか、マイナスな所ではなくて良いところ、ほめるべきところを探せたらと思います。そして、お互いに関係を良いものにしていけたらと思います。

## 中央地区里親会報告



中央地区里親会会長  
畠山憲夫



中央地区里親会では8月20日(日)に那須りんどう湖ファミリー牧場にて親子交流会を開催しました。里親家庭や児童相談所の方々合わせ80名程が参加し、楽しい交流会となりました。

毎日暑い日が続いている中での実施でしたが、熱中症対策として事務局が用意してくれたペットボトルの飲み物をもって、牛の乳しぼりや、ミルクあげ、えさやりなどを体験し、そのあと施設内のレストランでバーベキューをしました。解散後も各家庭で、乗り物に乗ったり、様々なアトラクションを楽しみました。ちなみに私は、子どもと妻が冒険迷路に入ったっきり、なかなか出てこないで汗だくになって待っていました。里親さん同士の交流の時間は昼食時がメインでしたが、参加した里親さんと喜んでいる子どもたちの笑顔がとても印象的でした。



仔牛にミルクを飲ませる子ども



フォスタリング機関のありようについて議論が交わされました

## 第3回全国家庭養育支援 地域ネットワークセミナー栃木大会報告

実行委員長 福田雅章

9月6日(水)栃木県総合文化センター第1会議室にて、第3回全国家庭養育支援地域ネットワークセミナーが開催されました。このセミナーは、全国家庭養育支援研究会が主催するもので、今回はテーマに「フォスタリング機関と子どもの居場所に求められる役割とは」を掲げ、県内外から123名の参加がありました。

基調講演として早稲田大学の上鹿渡和宏氏から「フォスタリング機関の現状とこれから一期待される役割」と題してのお話がありました。現在里親委託率全国1(令和3年度末59.3%)の福岡市の取り組みについて、平成17年度末時点で10.6%だったのが、市民参加型里親普及と里親支援体制整備によって大きく委託率を伸ばしてきた事例が紹介され、為せば成ることがわかりました。「フォスタリング機関に求められるもの」と題したシンポジウムでは、助言者の長縄良樹氏(岐阜県フォスタリング機関運営代表者)から未委託率の背景にある里親側の問題点と里親側に奮起を期待するお話がありました。

その他、栃木県が先駆的に取り組んできた子どもの居場所については、要保護児童を在宅のまま支援していくうえで重要な取り組みであることが確認されました。また、当事者を交えてのシンポジウムでは、助言者の日本大学の鈴木秀洋氏より「…させてもらった」「…してもらった」という話をよく聞くが、それはあたり前のことであるという指摘がありました。

以上、非常に中身の濃いセミナーとなりました。

## ホームページもご覧ください



HPのQRコード



メール会員登録募集中(無料)

**TFC**  
栃木フォスタリングセンター  
TOCHIGI FOSTERING CENTER

〒320-0065  
栃木県宇都宮市駒生町1837-3  
tel:028-612-6970  
fax:028-612-6971  
email:tfc2021@circus.ocn.ne.jp

開所時間:9:00~17:00  
定休日:日曜日、月曜日、祝日、年末年始